

専門サービス部会長報告

1. 会議名 第1回部会総会（オープン部会）
2. 日時 2025年9月12日（金）15:00～16:30
3. 場所 秋田商工会議所7階 ホール80
4. 出席者 部会員等18名（当部会員15名）
5. 懇談

テーマ 「NISA・iDeCo・変額保険による
資産形成セミナー」

ゲスト アクサ生命保険(株)秋田支社

秋田営業所長 大高 篤 氏

6. 協議 2号議員選任のための選考委員選任について

■なぜ今、資産形成が必要なのか？

人生には「教育資金」「住宅資金」「老後資金」という3つの大きな資金が必要となる。

このうち「老後資金」は、ローンなどで借りることができないため、計画的な準備が必要。



大高氏

豊かな老後に必要な資金額を試算すると、**ゆとりのある生活を送るためには約5,760万円が必要。**

最低限の生活でも約2,000万円が必要とされ、**公的年金だけでは不足する可能性がある。**

イベント	借りられる？
住宅購入費	○
教育費	○
老後資金	×

豊かな生活に必要な資金 ▶ 月額約**38万円**
国からの年金 ▶ 月額約**22万円**

95歳まで生きるとすると...
(38-22)万円×12ヵ月×30年 ▶ **約5,760万円**

■ 資産形成を成功させるための「長期・積立・分散」投資

1. 長期投資：時間を味方につける

- ・ 投資期間が長くなるほど、価格変動リスクが抑えられ、リターンが安定する傾向がある。
- ・ 30年間の長期投資では元本割れのリスクがなくなるというデータもある。

2. 積立投資：価格変動リスクを抑える

- ・ 毎月一定額をコツコツ投資する「ドルコスト平均法」が有効。
- ・ 価格が安い時には多く、高い時には少なく購入することになるため、平均購入単価を抑える効果が期待できる。

3. 分散投資：リスクを管理する

- ・ 投資対象（株式・債券など）や地域（国内・国外）を分けることで、1つの資産が値下がりした際の影響を和らげる。
- ・ 私たちの公的年金（GPIF）も、国内外の株式・債券に約4分の1ずつ分散投資し、長期で安定した収益を上げている。

■ NISA・iDeCo・変額保険の使い分けと最適な組み合わせ

【各制度の強みと注意点】

制度	強み	注意点
N I S A	・ 始めやすい（ハードルが低い） ・ いつでも引き出し可能 ・ 運用益が非課税	・ 途中で引き出してしまう可能性が高い
i D e C o	・ 掛金が全額所得控除になり 節税効果が高い ・ 運用益が非課税	・ 原則60歳まで引き出せないため流動性が低い
変額保険	・ 死亡保障や医療保障を持ちながら資産形成が可能 ・ 特定の病気で保険料の 払込が免除される特約がある	・ 保障機能がある分、純粋な投資商品よりコストがかかる

■ まとめ

- ・ それぞれの制度に異なる強みと弱みがあるため、どれか一つではなく「**複数を組み合わせる**」ことが望ましい。
- ・ **換金性の高いN I S A、税制優遇の大きいi D e C o、保障機能のある変額保険**を組み合わせることで、**互いの弱点を補い合える**。
- ・ 個人事業主は**国民年金以外の資産形成手段としてぜひ検討して欲しい**。

■ 協議 2号議員選任のための選考委員選任について

議員改選に伴う2号議員選任のための選考委員7名を選任し、選考委員会を開催した結果、次の6社を当部会からの2号議員に内定した。

- ・（株）イヤタカ
- ・（株）千成会
- ・大洋ビル管理（株）
- ・（株）バウハウス
- ・（株）へいあん秋田
- ・（株）友愛ビルサービス